

# TECHNICAL DATA

仕上げの種類	結露防止シート建材
製品名	ケツロナインシート

第1版 作成日： 2024年9月1日



菊水化学工業株式会社

◆製品概要：ケツロナインシート

構成：結露吸水層：ケツロナイン（色調：ライトグレー 日塗工：75-90A）

シート基材：ガラスシート

粘着層：アクリルエステル共重合物

シート重量：約0.9kg/m<sup>2</sup>

シート厚み：約1.1mm

補修材：ケツロナインシート補修材

荷姿：シート：サイズ450mm×450mm 30枚/セット（段ボール梱包）

補修材：1kg/ポリ容器（ケツロナインシート補修材）

◆施工上の注意点

1. 常時、高湿度の状態となる部位（プール・浴室・公衆浴場など）への施工は避けてください。  
水分を吸湿した後、放出する時間が必要となります。
2. 汚れが滞留しやすい部位（梁の上部等）への施工も可能ですが、汚れが滞留すると吸放湿性を阻害する可能性があります。
3. 施工できる推奨下地は平滑面となります。  
不陸が存在する場合は適切な下地処理を行ってください。
4. 予めテスト施工を行い、ケツロナインシートが密着するかの確認の上、本施工を行ってください。
5. 鉄部の発錆部などは、別途、さび止め塗料「SPプライマーエポ」を塗付後、施工を行ってください。
6. ケツロナインと同等の不燃性がありますが、不燃認定は取得していません。不燃認定が必要な部位については、ケツロナインをご使用ください。
7. ケツロナインとケツロナインシートを併用する場合は、下塗材⇒ケツロナインシート⇒ケツロナインの順に施工を行ってください。

◆ケツロナインシート層構成

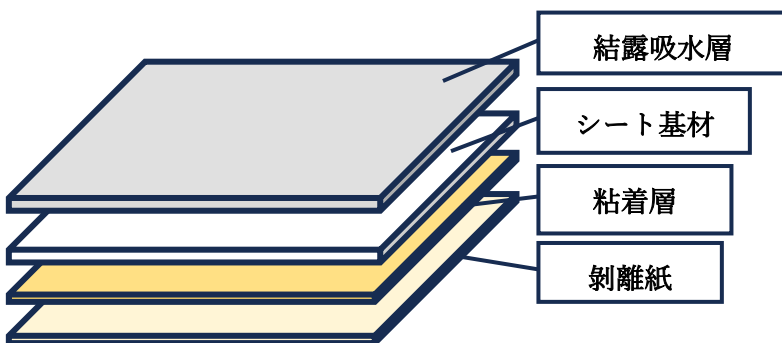


図1. ケツロナインシート層構成

## ◆施工方法

裏面にある剥離紙を剥がしながらシートの貼り付けを行ってください。

表1 施工工程

No.	工程	内容
1	素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。
2	墨だし	墨出し器を使用して墨だしを行う。墨だしを行った後は必ず水平器を用いて水平の確認を行う。
3	貼り付け	左貼りの場合、シート右端の約3～5cm程度、剥離紙を剥がしてしっかりと折る。シートを墨だしポイント上部・左部に合わせ剥離紙を剥がした右端を固定する。その後、剥離紙をすべて剥がし、プラスチックローラーを用いて圧着する。 *右貼りの場合は逆となる。
3	補修	施工中に発生した軽微な汚れは、メラミンスポンジ等で除去を行う。 入隅部、柱の角のひび割れ、表面汚れなどの処理を「ケツロナインシート補修材」で補修を行う。
4	清掃	残材、包装紙、離型紙などの片付け・清掃をする。
5	検査	工事検査を行う。

## ◆施工方法の詳細

### 墨出し

- ・施工する下地は、乾燥した清浄な平滑面としてください。
- ・シートは上から順に貼り付けます。墨出し器を使用して墨出しを行ってください。(写真1)  
墨出しを行った後は必ず水平器を使用して水平の確認を行ってください。(写真2)



写真1. 墨出し



写真2. 水平器による確認

### 貼り付け

- ・ケツロナインシートの裏面には剥離紙が貼られています。  
シート端の約3～5cmの程度、剥離紙を剥がしてしっかりと折ってください。(写真3)

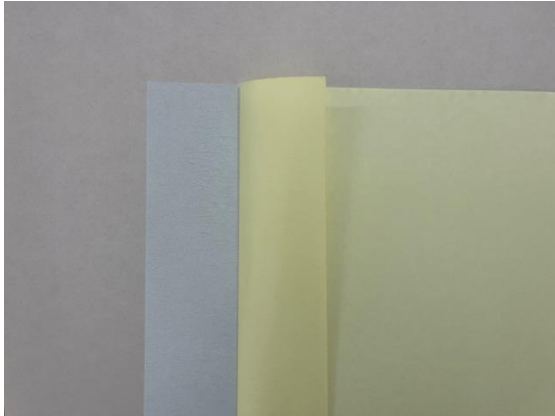


写真3. 仮止め用処理

- ・シートを墨だしポイント上部・左（右）部に合わせ剥離紙を剥がした右（左）端を固定します。その後、剥離紙をすべて剥がし、プラスチックローラーを用いて圧着してください。（写真4）
- ・入隅部分など、ローラーでの圧着が困難な箇所は、ラスター刷毛などを用いてしっかりと圧着してください。（写真5）



写真4. プラスチックローラー



写真5. ラスター刷毛による入隅圧着

- ・シートは一度貼り付けると粘着剤層が剥がれなくなります。剥がそうとすると結露吸水層から剥がれますので、ご注意ください。
- 剥がれてしまった場合は、ケツロナインシート補修材を剥離箇所に塗布し、圧着してください。
- ・シート同士は、突きつけて貼り合わせてください。

### 補修

- ・施工中、軽微な汚染が発生した場合は、メラミンスポンジを用いて軽くこすってください。
- ・メラミンスポンジで落とせない汚れや、折り曲げ部分のひび割れなどは、専用の補修材料「ケツロナインシート補修材」を用いて補修を行ってください。
- ・補修したい箇所に、補修材料を刷毛などでなるべく平滑に塗布します。
- ・乾燥後、やすりを用いて、補修周りとの境目を目立たないようにします。

- ・コーナー入隅部分の隙間などは、ケツロナインシート補修材を用いてパテ処理を行ってください。  
(写真6)

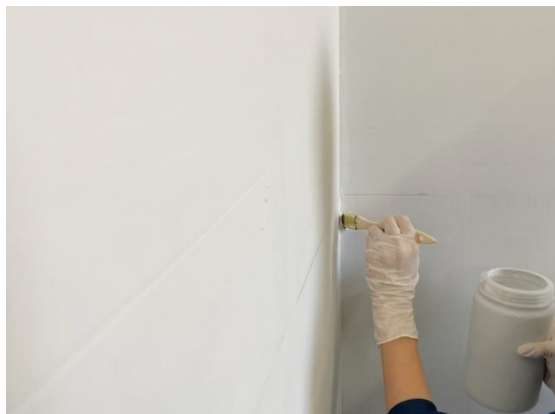


写真6. 入隅パテ処理

◆施工可否

- ・基本的に、金属（鉄）、セメント系（コンクリート・モルタル）などへの密着性は良好です。
- ・ただし、予め、テスト施工を行い、ケツロナインシートが密着するかの確認の上、本施工を行うことを推奨します。

表2. 施工可否一覧

金属	鉄	施工可
	ガルバリウム	
	亜鉛	
	アルミニウム	
	ステンレス	
プラスチック	ポリアミド	
	ポリエチレン	
	ポリプロピレン	
その他	コンクリート	
	ケイカル板	
	石膏ボード	
	壁紙	

以上